

小牧市民病院糖尿病・内分泌内科の

おすすめのポイント

- ①専門性の高い症例を多く経験できる。
- ②QOLが高い。

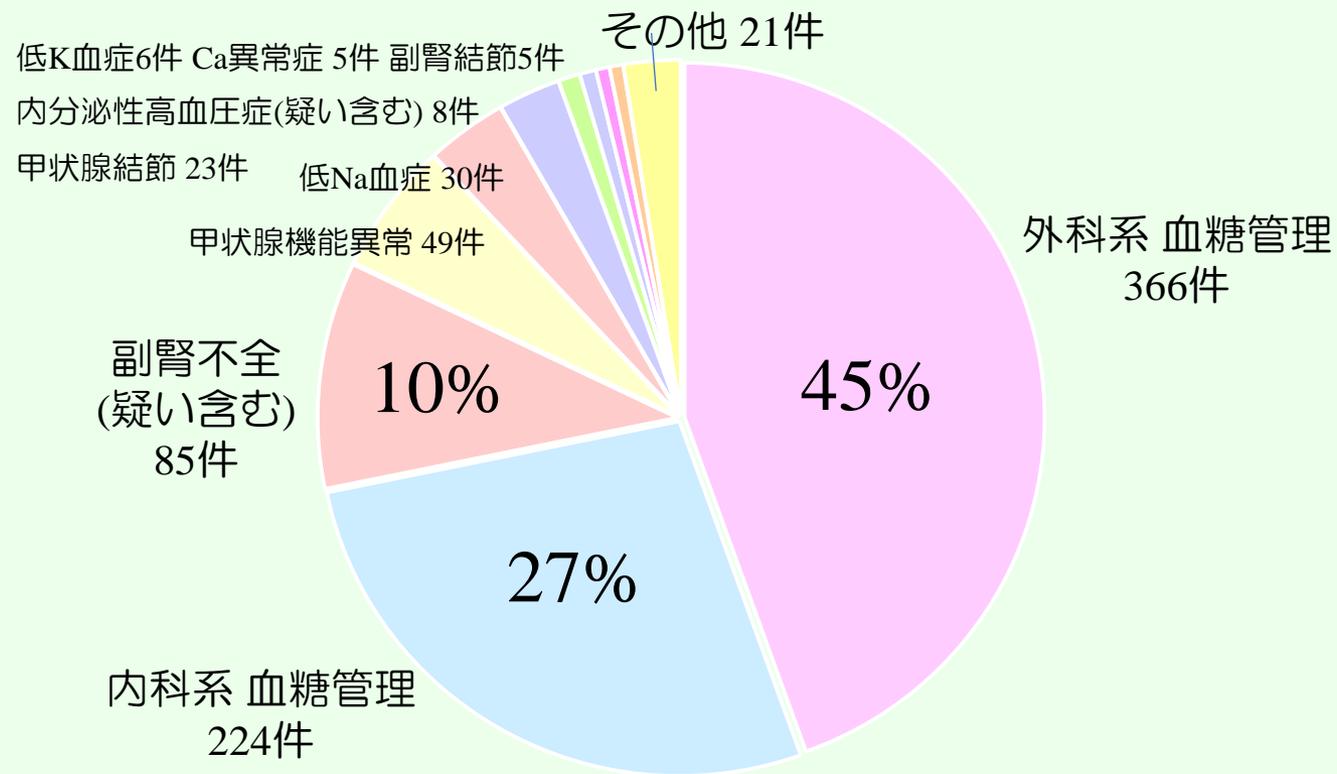
①専門性の高い症例を多く経験できる。

私たちの目標は糖尿病と内分泌疾患の診療を通じて地域の医療により大きな貢献することです。

専門性の高いスキルの向上を日々続ける必要がありますが限られた時間とマンパワーを、より専門性の高い業務に注ぐことができるように知恵を絞っています。

1日あたりの入院の副科の担当患者数は平均50名です。
様々な状況下での血糖管理やステロイドカバーを
経験することができます。

2020年に副科で診療した疾患の内訳



内分泌疾患の診断のための機能検査を多く経験できます。

電カルのセットを充実させ、準備をコメディカルに実施して頂くことで医師の負担を軽減して実施しています。

【2020年に実施した各種機能検査】

CRH試験	69件
ACTH試験	22件
TRH試験	27件
LH-RH試験	20件
GHRP2試験	5件
デキサメタゾン試験	97件
カプトプリル試験	26件
立位フロセミド試験	9件
経口食塩負荷試験	14件

各種シンチグラフィー	計 82件
放射線同位元素内用療法	4件

副腎静脈サンプリング	6件
------------	----

稀少な内分泌疾患をCommon diseaseのように経験できます。

【2020年の当院の内分泌疾患の新規の症例件数】

副腎皮質機能低下症	91件
副腎腫瘍	121件
原発性アルドステロン症	18件
コルチゾール産生腫瘍	0件
カテコラミン産生腫瘍	7件
末端肥大症	1件
尿崩症	5件
甲状腺腫瘍	469件
機能性甲状腺結節	4件
バセドウ病	78件
無痛性甲状腺炎	12件
亜急性甲状腺炎	6件
原発性副甲状腺機能亢進症	11件

症例のアセスメントのために
学会のガイドラインやUptodateを
スマートフォンや電カルで参照します。
日々の診療を通じて、普遍的に通用する
知識を身につけることができます。

当院は数少ない肥満外科手術の保険認定施設です。

(2021年6月時点)

東海北陸地方の保険認定施設：大学病院 7施設、基幹病院 6施設



当院は糖尿病学会が進めている糖尿病診療の見える化への取り組み(観察研究：J-DREAMS)に参加している限られた施設です。

東海北陸地方の参加施設：大学病院7施設、基幹病院2施設



小牧市民Hp



若手の医師は学会でも活躍しています。

- 医師6年目

日本内分泌学会東海支部学術集会(2019年11月)

若手優秀発表賞受賞

- 医師6年目

日本糖尿病学会年次学術集会(2021年5月)

□演発表

②QOLが高い

当科(当院)の特徴は以下のようになります^{注意1)}。

- 給与がそこそこ良い。
- 有給をしっかりとれる。
- 育児をしながら勤務できる。
- 平日の待機はなく、オン・オフがしっかり。
- 名古屋から高速で30分で通勤できる。
- コメディカルが優しくフットワークが軽い
- 他科との垣根が低く協力的である。
- 病院が新しく過ごしやすい。
- 電子カルテが新しく使いやすい。

注意1) 複数の病院で勤務経験がある医師Aの個人的な感想です。

興味をもった方はぜひ見学にきてください。

お待ちしております。